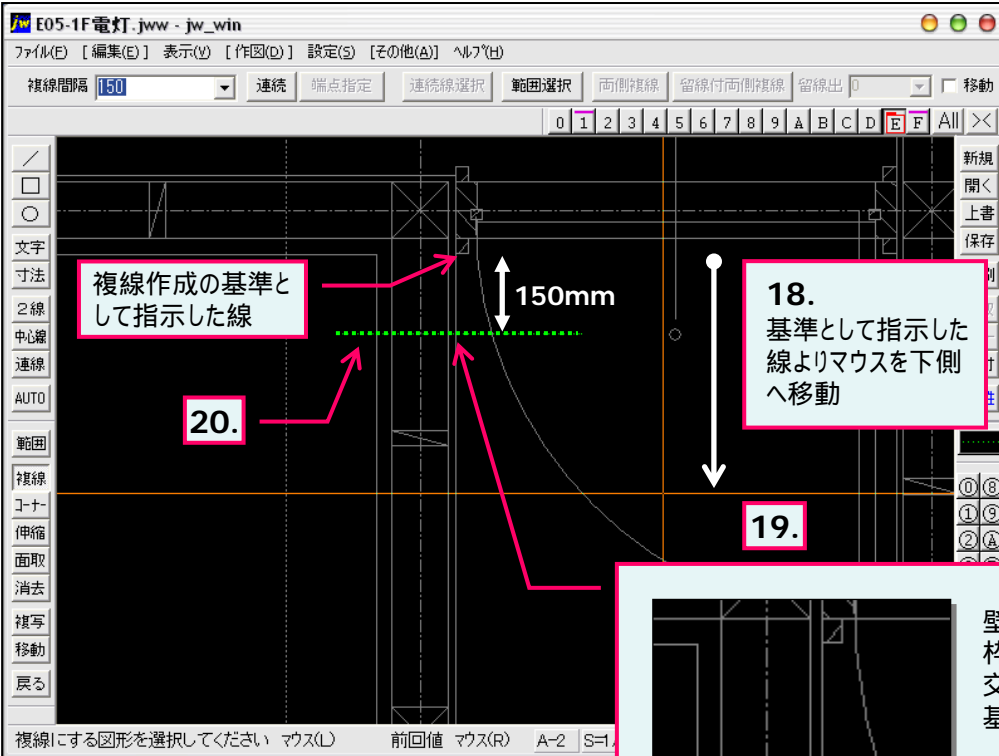


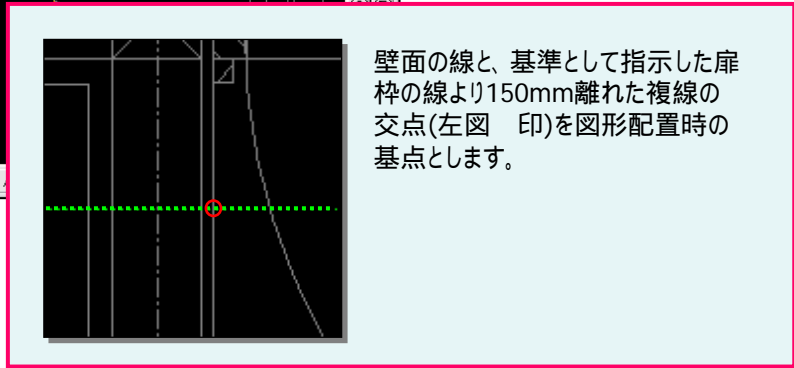
# 9-1(4). 図形の配置-2

## 図形(電気設備シンボル)の配置 - 配置する箇所へ基準点を作成(4)-壁面

図形配置の基点を決めるための基準となる線を決定し、複線(平行線)を使用して配置基点(離れ)を決めていきます。(3)

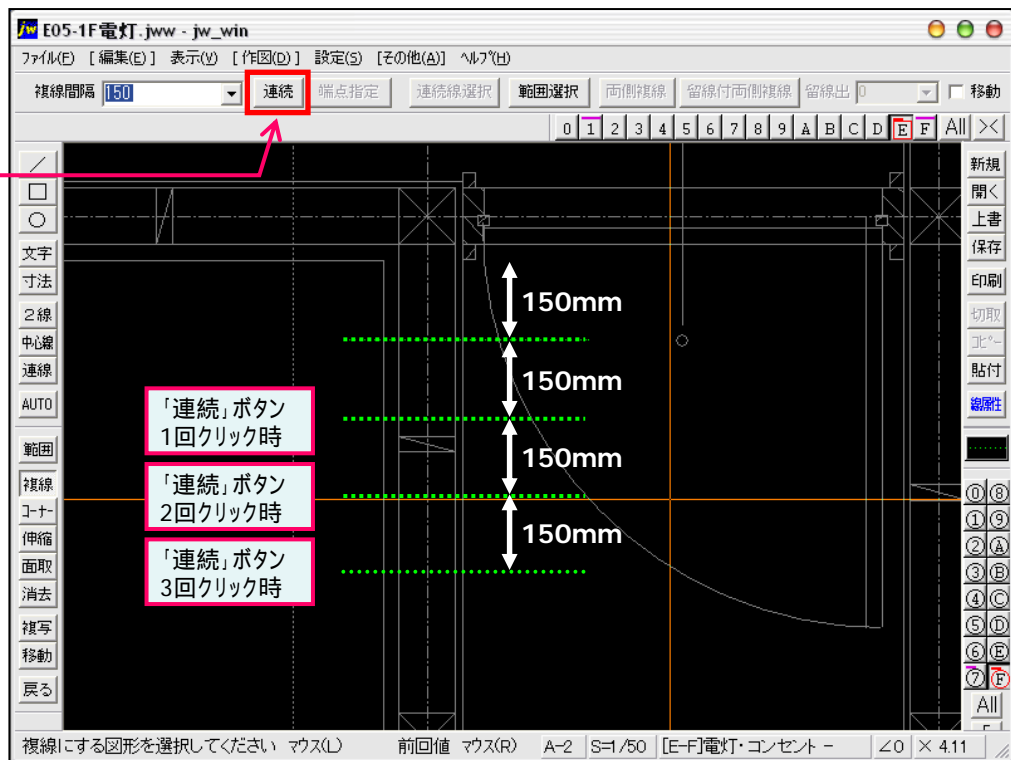


- 18. 複線を引く方向へマウスを移動します。  
前回同様ここでは指示した基準線より下方へマウスを移動しています。
- 19. 複線の仮表示線が希望する方向へ表示されたら、マウス左ボタンをクリックします。
- 20. 図のように基準として指示した線から150mm離れた箇所へ長さを変更した複線(平行線)を引くことが出来ました。



壁面の線と、基準として指示した扉枠の線より150mm離れた複線の交点(左図 印)を図形配置時の基点とします。

💡 「14.」や「20.」での複線を作成直後では「連続」ボタンをクリックするごとに、直前に作成された複線と「同一方向・同一長さ・同一間隔」の平行線を引くことができます。



- 「連続」ボタン 1回クリック時
- 「連続」ボタン 2回クリック時
- 「連続」ボタン 3回クリック時